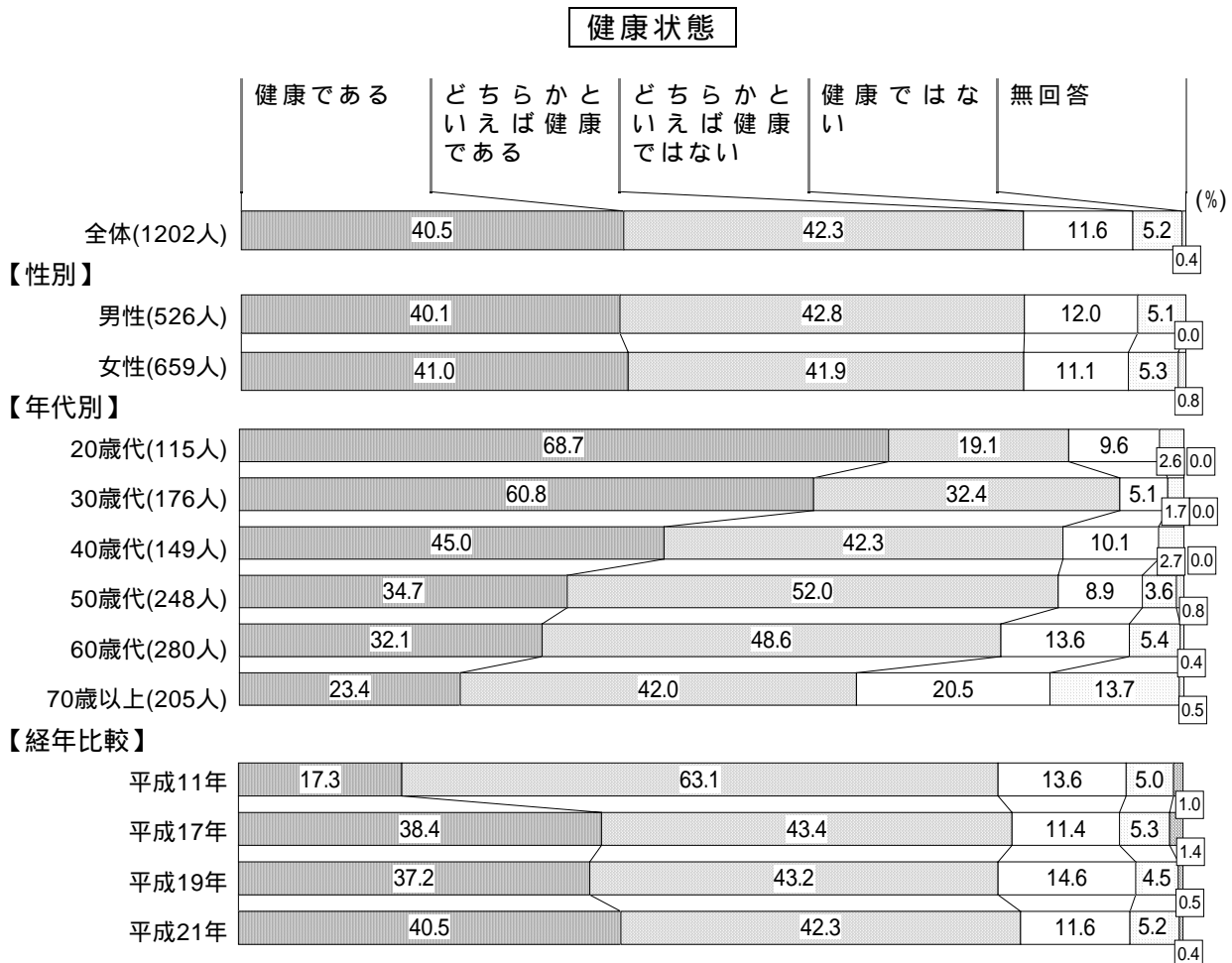


2 . 健康や医療・福祉について

2 - 1 . 健康状態

“健康であると感じている”が82.8%

問5 . あなたの今の健康状態はどうか。1つ選び、番号を で囲んでください。



全体で見ると、「健康である」は40.5%、「どちらかといえば健康である」は42.3%と高く、両者を合わせた82.8%が“健康であると感じている”と回答しています。

性別で見ると、特に大きな差異はみられません。

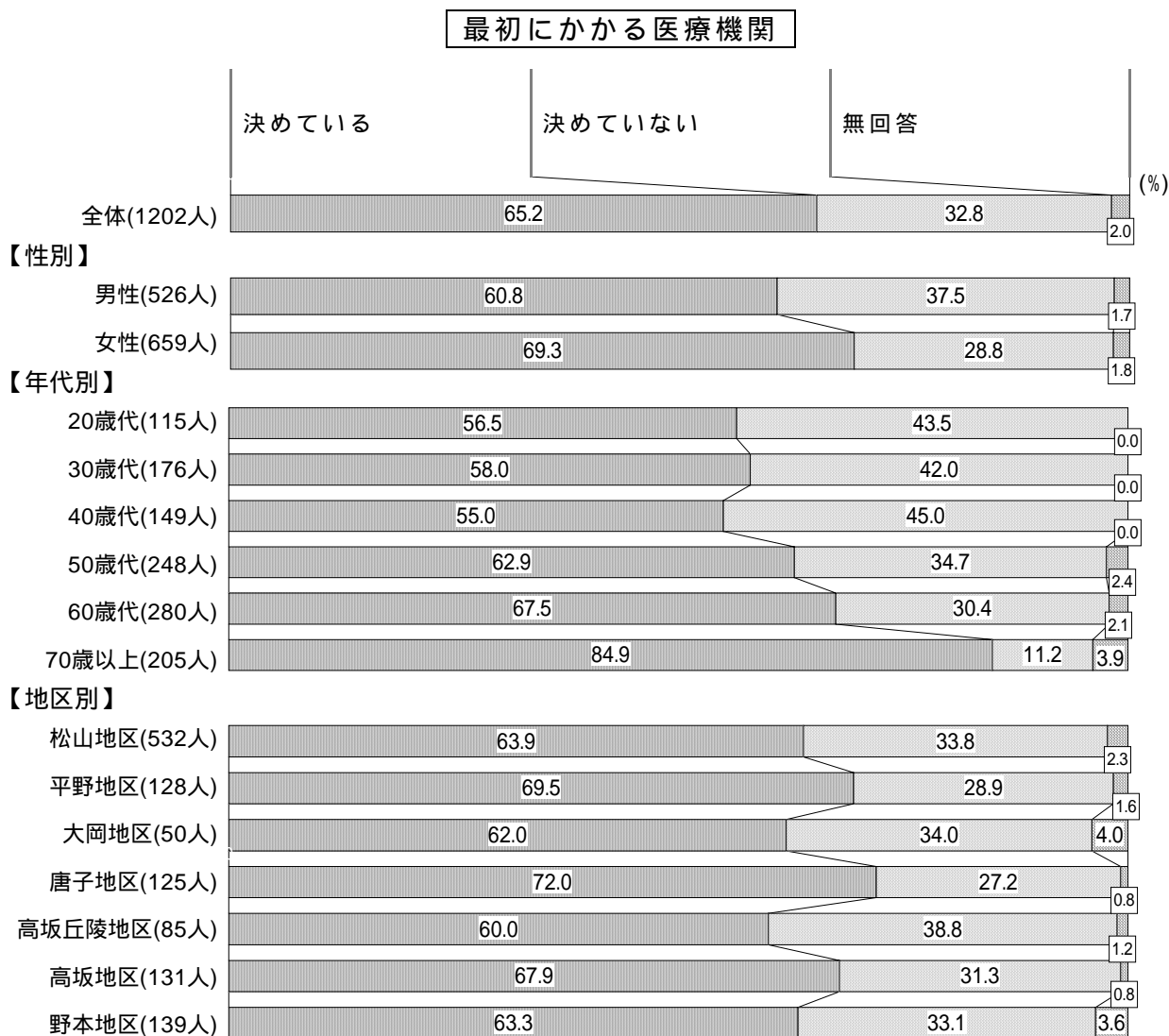
年代別で見ると、年代が下がるほど「健康である」と回答している割合は高く、20歳代で68.7%、30歳代で60.8%となっています。また、「健康ではない」と「どちらかといえば健康ではない」を合わせた“健康ではないと感じている”は、70歳以上で34.2%と高くなっています。

平成11年度からの調査結果との比較では、“健康であると感じている”は、8割台で推移しています。

2 - 2 . 最初にかかる医療機関

「決めている」65.2%

問6 . あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。



全体で見ると、「決めている」は65.2%、「決めていない」は32.8%となっています。

性別で見ると、「決めている」は女性(69.3%)が男性(60.8%)を8.5ポイント上回っています。

年代別で見ると、年齢が高くなるほど、「決めている」と回答している割合が高く、70歳以上で84.9%となっています。

地区別で見ると、「決めている」は唐子地区で72.0%と他の地区より高くなっています。

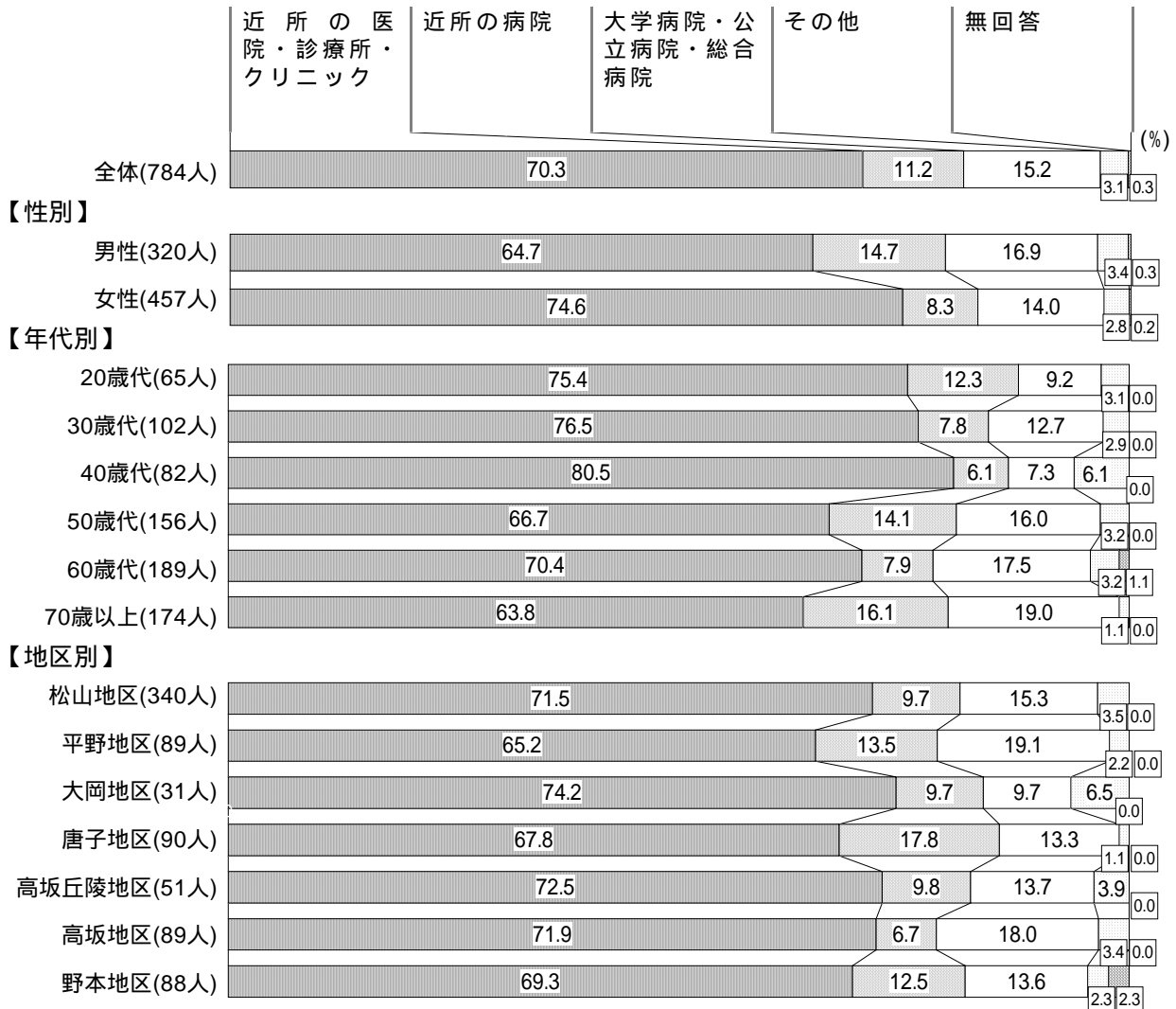
2 - 3 . 最初にかかる医療機関の種類

「近所の医院・診療所・クリニック」70.3%

(問6で「決めている」とお答えの方におたずねします。)

問6 - 1 . それは、次のどれですか。1つ選び、番号を で囲んでください。

最初にかかる医療機関の種類



全体で見ると、「近所の医院・診療所・クリニック」(70.3%)、「大学病院・公立病院・総合病院」(15.2%)、「近所の病院」(11.2%)の順で高くなっています。

性別で見ると、「近所の医院・診療所・クリニック」は、女性(74.6%)が男性(64.7%)を9.9ポイント上回っています。

年代別で見ると、いずれの年代も「近所の医院・診療所・クリニック」が6割を超え、40歳代では80.5%と高くなっています。50歳代以降の年代では、「大学病院・公立病院・総合病院」も比較的高くなっています。

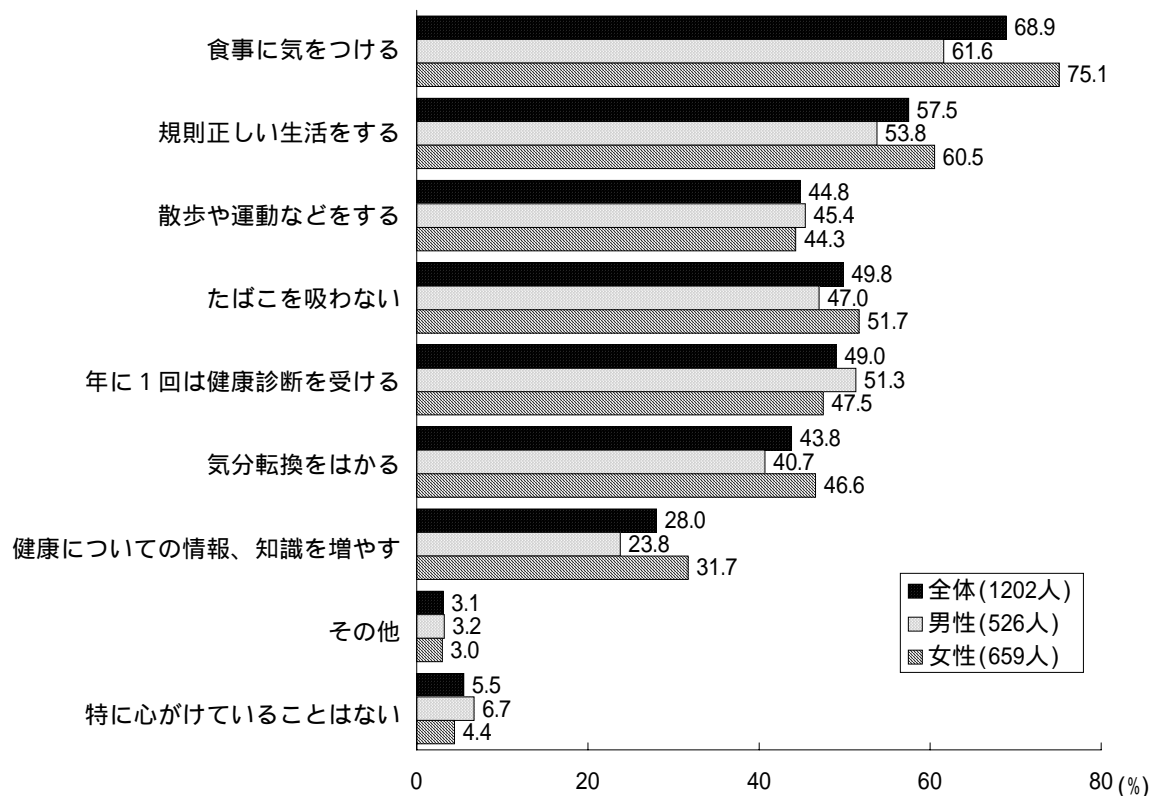
地区別で見ると、いずれの地区も「近所の医院・診療所・クリニック」が6割を超え、大岡地区、高坂丘陵地区、高坂地区、松山地区では7割台となっています。

2 - 4 . 健康づくりのために心がけていること

「食事に気をつける」68.9%、「規則正しい生活をする」57.5%

問7 . あなたが、自分の健康づくりのために日ごろから心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を で囲んでください。

健康づくりのために心がけていること（全体・性別）

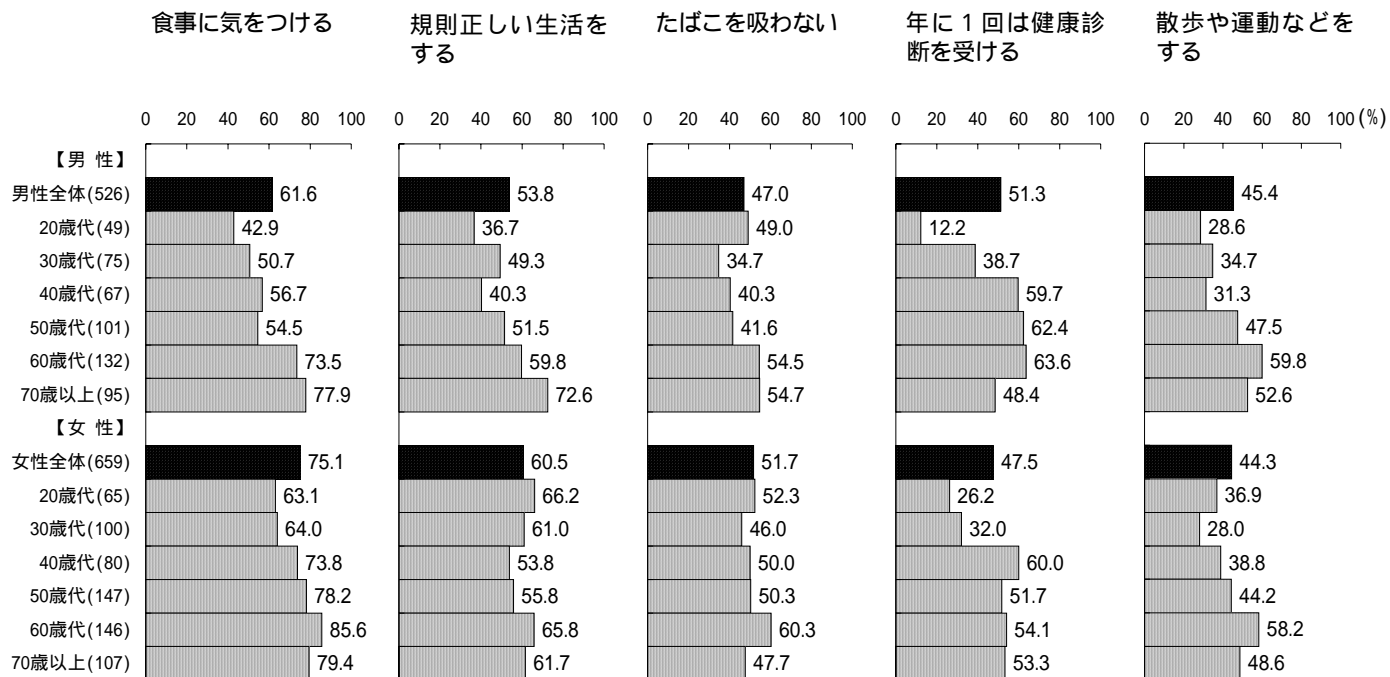


全体で見ると、「食事に気をつける」が68.9%で最も高く、次いで「規則正しい生活をする」(57.5%)、「たばこを吸わない」(49.8%)、「年に1回は健康診断を受ける」(49.0%)、「散歩や運動などをする」(44.8%)、「気分転換をはかる」(43.8%)の順で続いています。

性別で見ると、「食事に気をつける」は、女性(75.1%)が男性(61.6%)を13.5ポイント、「健康についての情報、知識を増やす」は、女性(31.7%)が男性(23.8%)を7.9ポイント、「規則正しい生活をする」は、女性(60.5%)が男性(53.8%)を6.7ポイント、「気分転換をはかる」は、女性(46.6%)が男性(40.7%)を5.9ポイント上回っています。

全体として女性の方が健康づくりに心がけていることが伺えます。

健康づくりのために心がけていること（性・年代別 上位5項目）



性・年代別で見ると、「食事に気をつける」は、年代が上がるほど割合が高く、男性では70歳以上で77.9%、60歳代で73.5%、女性では60歳代の85.6%を中心にその前後の世代で8割弱となっています。

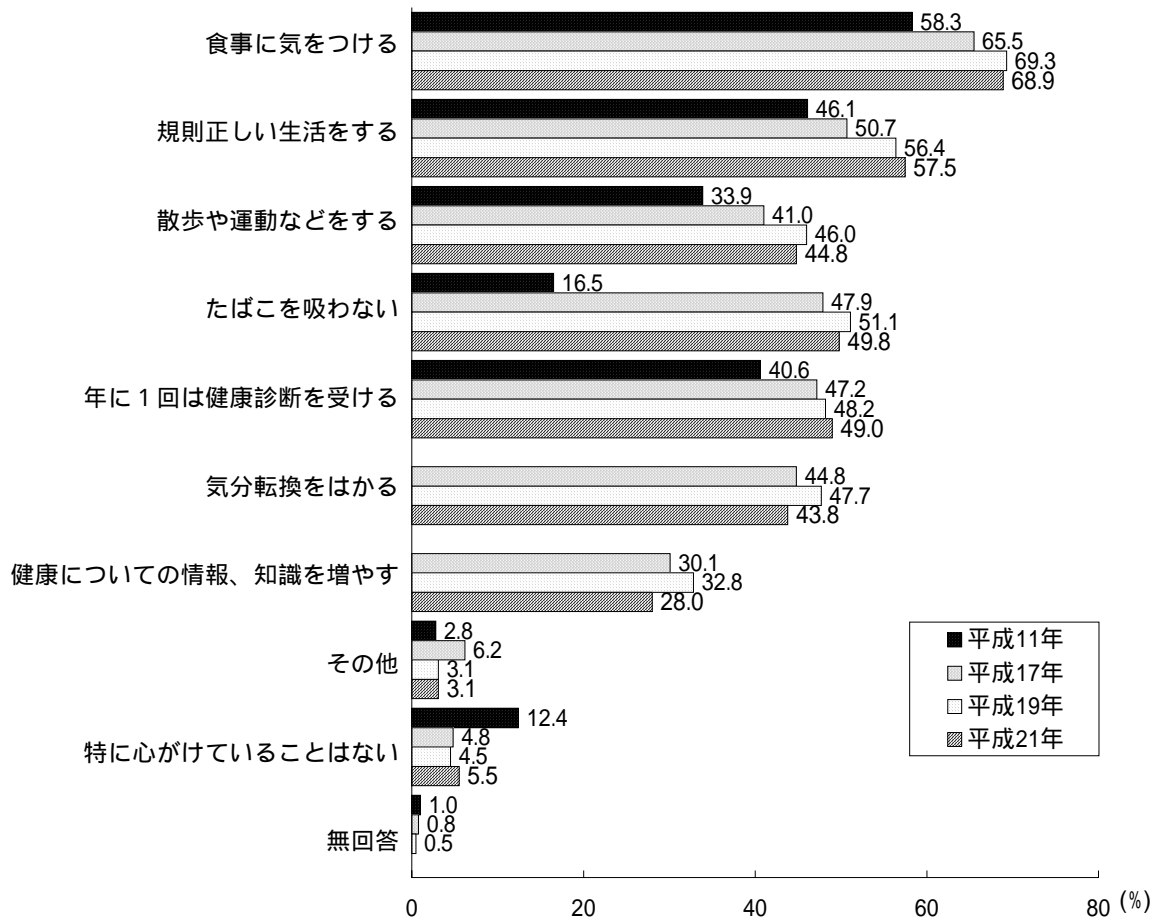
「規則正しい生活をする」は、男性では70歳以上で72.6%と高くなっていますが、20歳代から40歳代では半数以下となっています。女性ではすべての年代で5割から6割台と高くなっています。また、女性では20歳代（66.2%）で最も高くなっており、同年代の男性（36.7%）と大きな差がみられます。

「たばこを吸わない」は、男性では60歳代以降の年代で5割台半ば、女性では60歳代で60.3%と高くなっています。

「年に1回は健康診断を受ける」は、男女とも30歳代以前の年代で低く、特に20歳代では男性が12.2%、女性が26.2%と低くなっています。

「散歩や運動などをする」は、男女ともに60歳代（男性：59.8%、女性：58.2%）が最も高く、この年代を中心に前後の年代で4割以上となっています。

健康づくりのために心がけていること（経年比較）



（平成11年度調査では、「気分転換をはかる」「健康についての情報、知識を増やす」の選択肢はありません。また、「たばこを吸わない」は11年調査の「たばこ、酒を節制している」と比較しています。平成21年度調査では、「無回答」の方はいませんでした。）

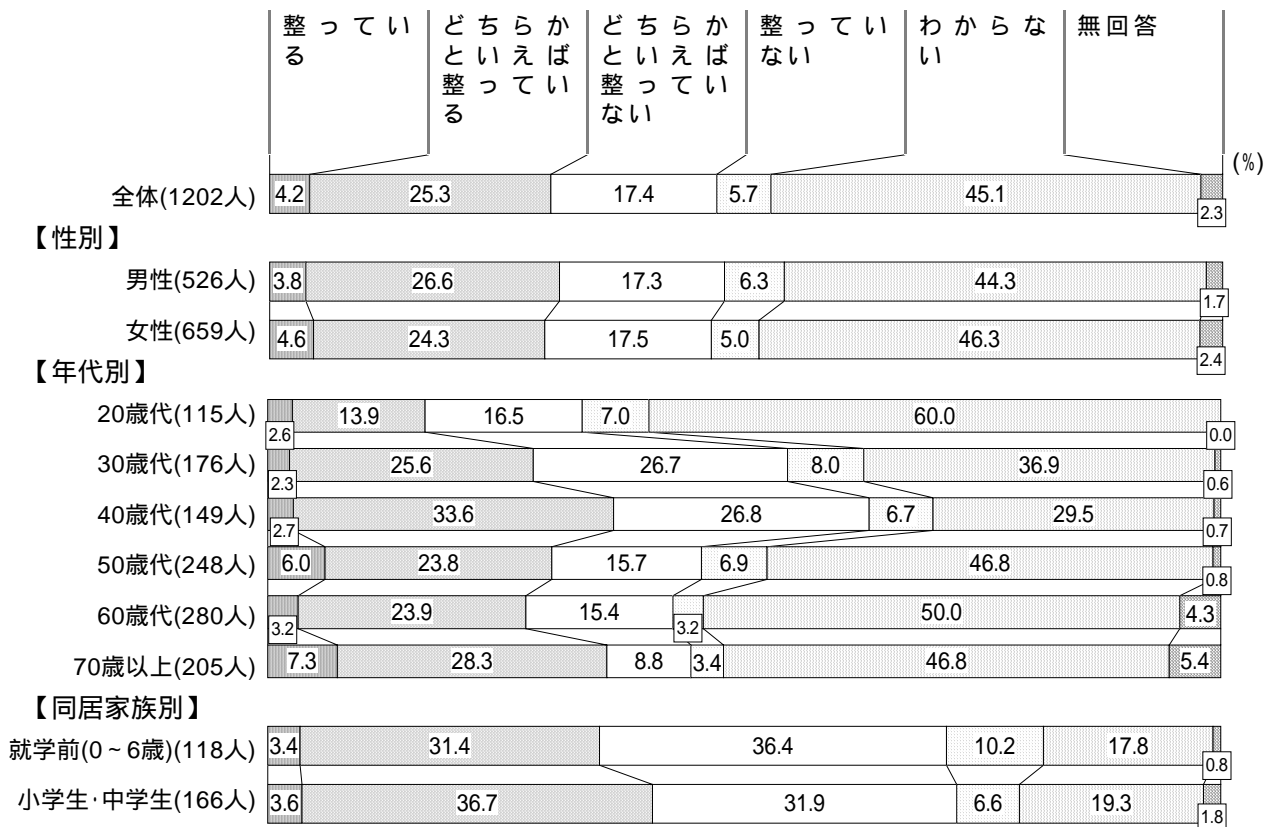
平成11年度からの調査と比較すると、平成19年度までは、すべての項目で心がけている項目が増加していましたが、今回の調査では、「健康についての情報、知識を増やす」で4.8ポイント、「気分転換をはかる」で3.9ポイントなど、減少した項目もみられます。

2 - 5 . 子育て環境の整備

“ 子育て環境が整っている ” 29.5%

問 8 . あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。 1 つ選び、番号を で囲んでください。

子育て環境の整備



「65歳以上」、「いずれもない」はデータを省略しています。

全体で見ると、「整っている」は4.2%、「どちらかといえば整っている」は25.3%で、両者を合わせた29.5%が“子育て環境が整っている”と回答しています。また、「整っていない」(5.7%)と「どちらかといえば整っていない」(17.4%)の両者を合わせた“子育て環境は整っていない”との回答は23.1%となっています。

性別では、特に大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“子育て環境が整っている”は、40歳代で36.3%、70歳以上で35.6%と高くなっていますが、20歳代では16.5%と低くなっています。

同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯で見ると、就学前(と同居)では“子育て環境は整っていない”が46.6%と高く、“子育て環境が整っている”(34.8%)を11.8ポイント上回っています。また、小学生・中学生(と同居)では、“子育て環境が整っている”は40.3%で、“子育て環境は整っていない”(38.5%)をやや上回っています。

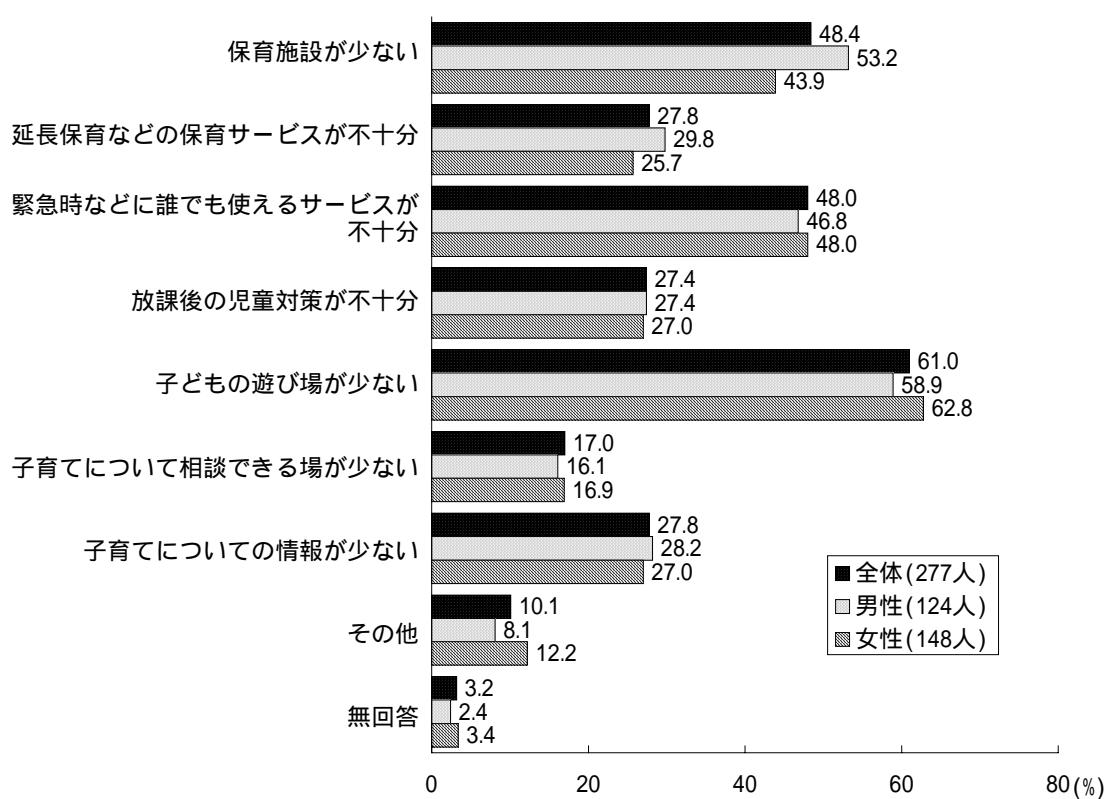
2 - 6 . 子育て環境が整っていない理由

「子どもの遊び場が少ない」61.0%、「保育施設が少ない」48.4%、「緊急時などに誰でも使えるサービスが不十分」48.0%

(問8で「どちらかといえば整っていない」または「整っていない」とお答えの方におたずねします。)

問8 - 1 . その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を で囲んでください。

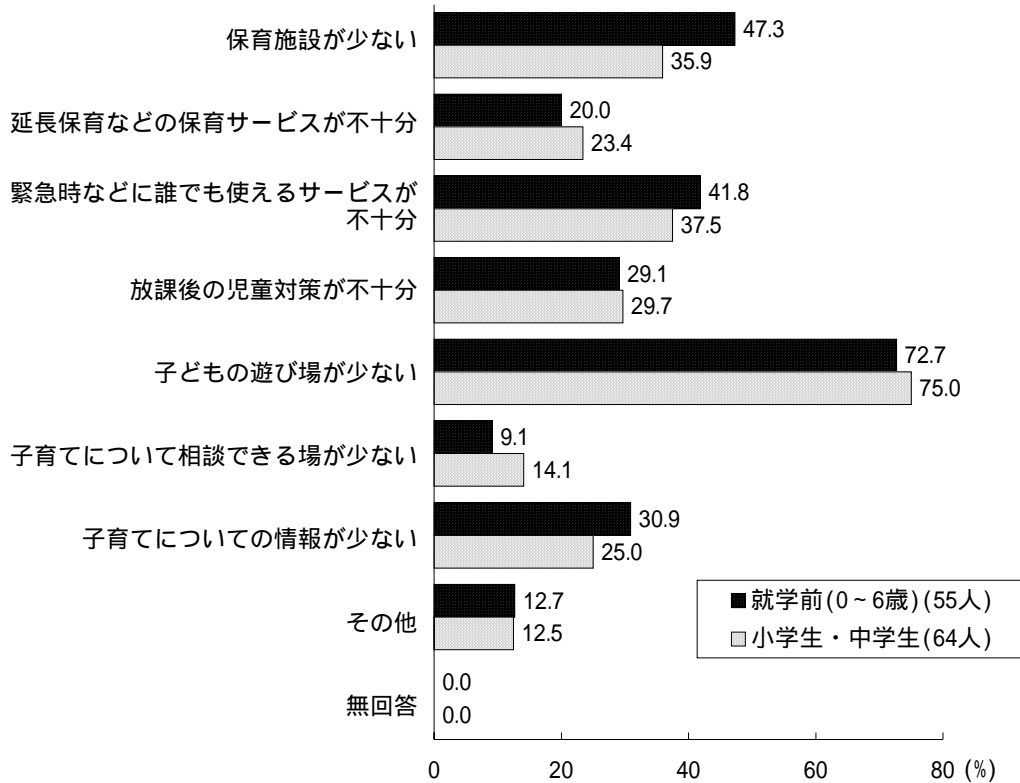
子育て環境が整っていない理由 (全体・性別)



全体で見ると、「子どもの遊び場が少ない」が61.0%で最も高く、次いで「保育施設が少ない」(48.4%)、「緊急時などに誰でも使えるサービスが不十分」(48.0%)などが続いています。

性別で見ると、「保育施設が少ない」は、男性(53.2%)が女性(43.9%)を9.3ポイント、「延長保育などの保育サービスが不十分」は、男性(29.8%)が女性(25.7%)を4.1ポイント上回っています。一方、「子どもの遊び場が少ない」は、女性(62.8%)が男性(58.9%)を3.9ポイント上回っています。

子育て環境が整っていない理由（同居家族別）



「65歳以上」、「いずれもない」はデータを省略しています。

同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯でみると、どちらも「子どもの遊び場が少ない」が最も高く、就学前(と同居)で72.7%、小学生・中学生(と同居)で75.0%となっています。就学前(と同居)では、「保育施設が少ない」(47.3%)、「緊急時などに誰でも使えるサービスが不十分」(41.8%)が続き、小学生・中学生(と同居)では、「緊急時などに誰でも使えるサービスが不十分」(37.5%)、「保育施設が少ない」(35.9%)が続いています。